

営農情報

第96号 平成23年8月23日発行

大豆防除情報

福岡大城農業協同組合
筑後農林事務所南筑後普及指導センター

1 大豆の生育概況

今年は梅雨明けが早かったため、播種作業は好天に恵まれ、7月15～20日頃を中心に、順調に行われました。

播種後は晴天・乾燥により一部のほ場で出芽遅れ、出芽不良が見受けられました。

8月14～16日の降雨で、湿害を受けたほ場がありました。

開花期は、7月10日播種で8月18日頃となっています。

2 ハスモンヨトウの防除について

8月14～16日にかけて、フェロモントラップ調査によるハスモンヨトウ成虫の誘殺数ピークが確認されました。また、ほ場によっては、白変葉も見られています。今年はハスモンヨトウがやや多いため、注意しましょう。ハスモンヨトウの1回目の防除適期は次のとおりです。

防除適期 8月25～30日

3 防除薬剤

年々、カメムシ類の被害が大きくなっています。大豆の開花期以降で乗用管理機を使う場合、ハスモンヨトウとカメムシ類の同時防除を行きましょう。

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用回数	使用量 10a当たり
ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル5	4000倍	3回以内	水100 /25m
カメムシ類	キラップフロアブル	2000倍	2回以内	水100 /50m
紫斑病	トップジンM水和剤	1000～1500倍	4回以内	水100 /100m

【散布量】

10a当たり100～300リットル

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう！